



北海道議会議員

ふちがみ綾子

道政通信 Vol.7

ふちがみ綾子道政事務所

2021 年特別号

♡ はじめに

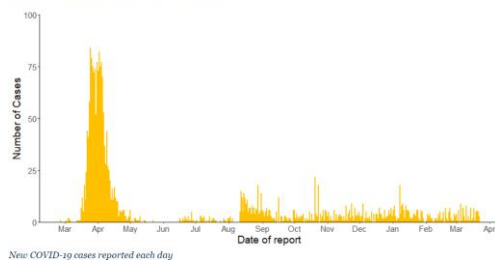
～ ウィズコロナからゼロコロナへ ～

これまで感染拡大防止と社会・経済活動の両立というウィズコロナ政策がとられてきましたが、対策を講じて感染者数が減ってきたら経済活動を再開し、また感染者数が爆発的に増加する、これではいつまでたっても感染は収まらないことが次第にわかってきました。北海道議会でも第1回定例会ではウィズコロナという表現は全く使われなくなりました。いま終わりの見えない闘いに多くの事業者が疲弊しているばかりでなく、アクセルとブレーキの度にかかった各種支援金や GoTo キャンペーンなどの多額の費用は今後、未来を担う若い世代に重くのしかかってくることになるでしょう。

ウィズコロナ政策に替わり、いったん感染を抑え込んだ後で経済活動を再生させるという考えに基づくゼロコロナという考え方があります。「そんなことできるわけがない」「夢物語だ」というご意見はあるかと思いますが、コロナ対策に最も成功していると言われているニュージーランドでは初動を早くし、ゲノム解析によって感染経路を特定し、そこに対して集中的に対策を講じていくことで効率的かつ対策による影響を最小限にとどめて感染拡大防止から経済再生につなげることに成功しています。ニュージーランドの人口は約 504 万人で北海道と同規模ですが、これまでの感染者数はわずか 2462 人、死者数は 26 人とどまっています(3/22 現在)。わたしたちは成功事例に学び、科学的根拠に基づく意見に耳を傾け、政局的な要素は別にして、ウィズコロナからゼロコロナへ政策を転換する時期に来ているのではないのでしょうか。ニュージーランドのようにだれもマスクなしで過ごし、大勢で集まることもできる日々を取り戻すことは決して不可能ではないと思います。

Cases reported each day

Daily confirmed and probable cases



New COVID-19 cases reported each day

ニュージーランドの日ごとの感染者数
ニュージーランド保健省サイトより抜粋(3/22 現在)

<https://www.health.govt.nz/our-work/diseases-and-conditions/covid-19-novel-coronavirus/covid-19-data-and-statistics/covid-19-current-cases>

3/22 現在の警戒レベルは 1
ニュージーランド政府の
コロナ対策サイトより抜粋
<https://covid19.govt.nz/>

♡ 一般質問(新型コロナウイルス感染症対策について)

第1回定例会で一般質問を行いました。新型コロナウイルス感染症対策に関するものをお知らせします。

～ 新型コロナウイルス感染症のワクチンについて ～

質問 接種していないことを理由に不当な扱いをしないでということと呼びかけてほしい。

答弁 不当な行為の防止を徹底するためホームページやSNSで発信する。



～ 休業支援金 ～

質問 休業支援金の執行はわずか1割強。被雇用者が申請できるが労働局から事業者へ連絡が行くため関係悪化の懸念から申請をためらう問題がある。支援金があたるとどう取り組むか。

答弁 事業者の皆様に対し、労働者が申請したことによる解雇などの不利益が生じることがないように協力を求めてきた。今後とも、一人でも多くの方が受給できるよう周知に取り組む。

指摘 事業者を通さずとも受給できるよう国に改善を求めてほしい。

～ 感染防止・事業継続に取り組む事業者支援(法人20万・個人事業者10万)について ～

質問 営業当初からコロナで打撃を受けている事業者は持続化給付金も何も当たらないという声がある。支援の対象にするよう制度設計に反映してほしい。

答弁 支援が広く行き届くよう取り組む。(議会議論中で3/24の議決で対象範囲確定)

指摘 時短要請されていない(もともと午後10時までなど)飲食店も打撃をうけている。接待を伴う飲食店に従事する個人事業主や美容室、花屋、ドライバーなど声を聞いて対象範囲に反映してほしい。

～ ゲノム解析について ～

質問 ニュージーランドではゲノム解析で感染経路を特定し、そこに効果的に対策をすることで感染拡大を抑え込み経済再生につなげている。ゲノム解析についての認識を伺う。

答弁 感染状況を客観的に評価する方法として有効と認識。道立衛生研究所にシーケンサーを導入した。(感染経路を特定に関しては回答なし)

指摘 海外の事例を取り入れてほしい。

ゲノム解析ってなに？

生物の遺伝情報を総合的に解析すること。シーケンサーと呼ばれる機械で塩基配列を特定する。コロナウイルスは感染の度に塩基配列の一部が変化するため、解析によりどこからどこへ感染したかを特定することができる。

♡ 講演・トークイベント・セッション

～ 講演 ～

・ 生まれは「大介」今は「綾子」 室蘭市教育委員会

どのような経過で「大介」から「綾子」になったか、性的マイノリティについての議会での取り組みなどについてお話をしました。その後、講演内容を室蘭市議会・登別市議会でも活用していただきました。

・ ジェンダー平等について LGBTQ の視点から考える 信廣寺

SDGsに取り組まれているお寺の方の活動一環として講演。ジェンダー平等は LGBTQ にとっても生きやすいということについてお話をしました。その後の研究発表にも活用していただきました。

・ 今、多様性のある社会へ 国際女性デー十勝集会

なぜ多様性が必要か？多様性を認め合うことはみんなにとってもプラスになるということや、ジェンダー平等について日本や道の現状や取り組みなどについてお話をしました。

・ 「ジェンダー」という言葉や「LGBT」の考え方について学ぼう 北斗中学

LGBT とは何か、カミングアウトされたらどうすればいいか、性的マイノリティ当事者はどこに相談したらいいか、などについて、中学校 1 年生向けの道徳の時間に講演しました。



～ トークイベント ～

・ ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき 北海道大学 LGBTs サークル「虹の集い」

『ぼくが性別「ゼロ」に戻るとき』の上映会とその後のトークイベントにゲストスピーカーとして参加しました。虹の集いさんは北大課外活動賞「北大えるむ賞」「北大ペンハロー賞」をダブルで受賞されました。



～ セッション ～

・ 教育と性の多様性 北星学園英語副専攻の学生チーム

学生チームが企画するオープンセッション『教育と性の多様性』にトークゲストとして参加しました。司会の学生チームからのトピックに、シドニー大学で性差別・LGBTQ・いじめに関して研究されているローリングス先生と私が答えていくというもので、基本は英語、学生が同時和訳するという興味深いセッションでした。



♡ 同性婚裁判に歴史的判決

同性間の結婚を認めないのは違憲であるかを問う（形式上は国家損害賠償請求）裁判で、3月17日、憲法14条の「法の下での平等」に反するという国内初の判決が下されました。札幌での判決は現在審理中の全国4ヶ所の地裁での判決にも影響すると考えられています。政府は最高裁判決が出るまで違憲とは認めない姿勢を示しており、原告は控訴を予定しています。最高裁で原告の訴えにより近い判決が下されるためには、各自治体で導入が進んでいるパートナーシップ制度が全国に広がることが重要であり、北海道でも導入されるよう引き続き議会内外で取り組んでまいります。



各種新聞の1面がレインボーに

♡ 街宣

平日早朝の街頭での道政報告に加え、日曜の夕方に交通安全や議会での取り組みについてのお知らせを行っております。見かけたらお気軽にお声がけください。また、学校や町内会などでの交通安全啓発活動に積極的に参加させていただきたいと思っておりますので予定などございましたらぜひご一報ください。



ふちがみ綾子プロフィール

1975年佐賀県生まれ。1997年富山大学卒業。1999年北海道大学大学院修了。北海道大学低温科学研究所勤務。2000年農林水産省北海道農業試験場勤務。2001年「ららっー」に入社。2019年北海道議会議員に初当選。

所属委員会：環境生活委員会・食と観光対策特別委員会

♡ ふちがみ綾子道政事務所



〒065-0011

札幌市東区北11条東8丁目1-3 高岡ビル1階

TEL: 011-733-6007 FAX: 011-733-6008

ふちがみ綾子公式ウェブサイト

<http://fuchigamiayako.jp/>

